

# 令和5年度 経済産業省の政策体系の施策に係る評価書

|                                                                               |                             |
|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 政策テーマ：3. イノベーション政策の推進並びに産業標準の整備及び普及<br>(政策体系：イノベーション政策の推進並びに産業標準の整備及び普及(1/1)) |                             |
| イノベーション・環境局                                                                   |                             |
| 政策評価実施時期                                                                      | 令和6年8月                      |
| 学識経験を有する者の知見の活用に関する事項                                                         | 第33回産業構造審議会総会<br>(令和6年8月1日) |

政策テーマ：3. イノベーション政策の推進並びに産業標準の整備及び普及

（政策評価軸：イノベーション政策の推進並びに産業標準の整備及び普及（1／1））

イノベーション・環境局長 菊川 人吾

目標（ミッションステートメント）

スタートアップ・エコシステムの構築に向けて、スタートアップの事業拡大を促し、世界最先端の研究開発を進めて社会実装につなげることで、イノベーションの好循環を拡大する

主要な目標

目標1：2027年度におけるスタートアップ投資額を2022年度と比較して約10倍にする

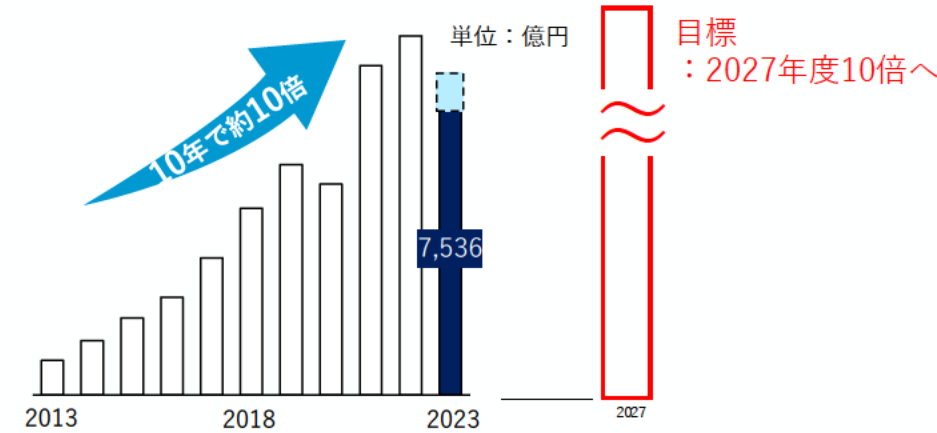
目標2：官民合わせた研究開発投資額を2021年度から2025年度までの5年間（合計額）で約120兆円にする

目標に対する評価と今後の対応

- 目標1については、スタートアップ育成5か年計画（2022年11月策定）の下、VC等への公的資本の投資拡大、税制を通じたスタートアップの育成・協業促進、ディープテック・スタートアップに対する支援の強化等を行ったところ、2023年の投資額は約8,500億円となった。今後は、スタートアップ・エコシステム構築に向けて、引き続きスタートアップ育成5か年計画を着実に実行することに加え、イノベーションの担い手であるスタートアップ等による事業拡大・社会実装の促進や、大企業や大学に眠る人材や技術、設備等のイノベーション資源の流動化を図るための方策を検討する。
- 目標2について、量子等の国家戦略上重要な分野への重点投資を行い、2021年度の官民合わせた研究開発投資額は約20兆円に達し、2016年度から2020年度までの投資額の平均を上回った。今後も日本の研究開発の量・質を拡充するため、研究プロセスに対して支払う従来型の委託・補助型の研究開発の支援手法に加えて、研究成果に報酬を支払う仕組みとなる懸賞金型事業を、省全体の研究開発予算に対するポートフォリオを拡大する方向で本格的に実施する。さらに、まだ産業化に至っていないフロンティア領域の探索のためのインテリジェンス機能の強化を行うとともに、フロンティア領域への重点支援及び社会実装に向けたロードマップ作成を行う。また、研究開発成果として生まれた知的財産権の活用促進の観点で、令和6年度税制改正において、イノベーション拠点税制を創設した。今後、令和7年度の制度開始に向け、必要なガイドライン等の整備とともに周知・広報を行っていく。
- 目標1～2を達成するため、スタートアップの事業拡大や研究開発については、戦略的な標準化活動を一体的に展開することが重要であることから、引き続き、戦略的な標準化の基盤となる人材の育成・確保や、企業経営者・アカデミア・投資家等のステークホルダーの理解浸透・意識改革、研究開発の早期段階からの標準化活動の促進、改正産業競争力強化法の特定新需要開拓事業計画制度を通じたオープン＆クローズ戦略の推進等に取り組む。
- 目標1～2を達成するため、産総研、NEDO、NITEの3独法について、各独法の目標に従い、社会課題解決や産業競争力強化に資する研究開発や行政執行支援を着実に実施するなど、効率的かつ効果的な運営に引き続き取り組む。

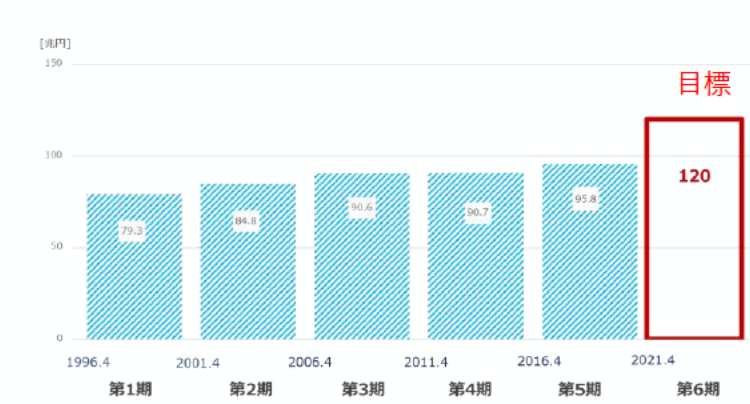
主要な目標及びその他目標の足元の動向

目標1：スタートアップ投資額を2023年度から2027年度までの5年間で約10倍にする



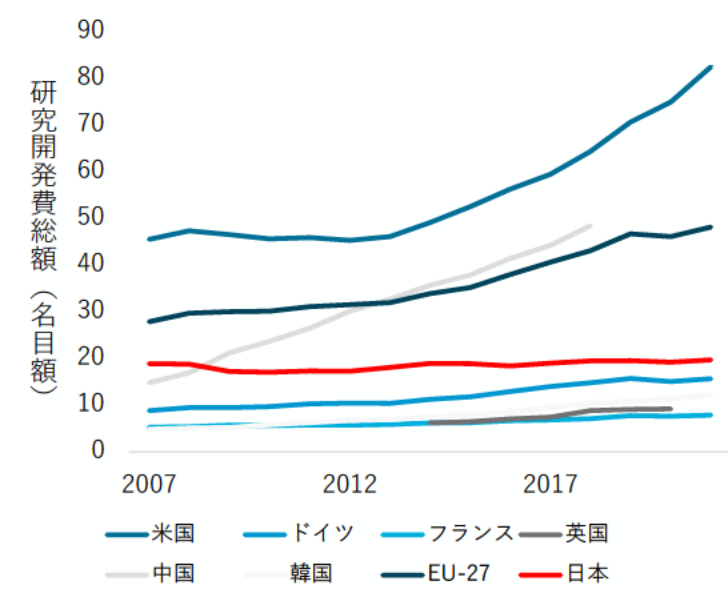
資料：INITIAL（2024年1月25日時点）  
 \*現時点で判明している資金調達額（7,536億円）に、後に判明する資金調達額の推計分を加えたもの

目標2：官民合わせた研究開発投資額を2021年度から2025年度までの5年間で約120兆円にする



資料：令和5年度当初予算案 令和4年度補正予算の概要について（内閣府）より経産省作成

目標2 補足：主要国の研究開発費総額の推移



2007年から2021年の間で、  
 ・米国：1.8倍（46兆円→82兆円）  
 ・ドイツ：1.8倍（8.8兆円→15.7兆円）  
 ・フランス：1.5倍（5.3兆円→7.9兆円）  
 ・EU：1.7倍（28兆円→48兆円）  
 ・韓国：2.5倍（4.9兆円→12兆円）に対して、  
 ・日本：1.0倍（19兆円→20兆円）に留まる。

資料：NISTEP「科学技術指標2023」の「表1-1-1主要国における研究開発費総額の推移」をもとに作成

| 主な関連施策                | 推進体制（主担当課室）                                                                                               |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イノベーション政策の推進          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーション政策課</li> <li>・イノベーション推進政策企画室</li> <li>・国際室</li> </ul>      |
| スタートアップ・エコシステムの構築     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーション創出新事業推進課</li> <li>・スタートアップ推進室</li> <li>・大学連携推進室</li> </ul> |
| 研究開発の量・質の拡充による社会実装の強化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発課</li> <li>・フロンティア推進室</li> <li>・基準認証政策課</li> </ul>            |
| 日本型標準加速化モデルの実現        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準認証政策課</li> <li>・国際標準課</li> <li>・国際電気標準課</li> </ul>              |
| 3 独法の効率的かつ効果的な運営      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業技術法人室</li> <li>・研究開発課</li> <li>・基準認証政策課</li> </ul>              |

| 関連する予算、税制等の全体像                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【令和 5 年度補正予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約2兆5537億円の内数</li> </ul> <p>【令和 6 年度当初予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約1900億円</li> </ul> <p>【令和 6 年度税制改正】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーション拠点税制の創設、オープンイノベーション促進税制の延長、パーシャルスピノフ税制の拡充・延長、Web3.0分野の期末時価評価課税に係る見直し、エンジェル税制の拡充、税制適格ストックオプションの見直し</li> </ul> |